

はな華



2018年5月15日 第57号

編集 社会福祉法人 三幸福社会 特別養護老人ホーム 清華苑 広報委員会

発行責任者：施設長 池田昌弘

〒674-0051 明石市大久保町大窪3104番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <http://seikaen.jp>



2018年4月18日 園庭でお花見を楽しみました

新年度を迎えて

桜の花とともに新しい年度を迎えさせて頂きました。みなさまにおかれましては益々ご健勝のことと存じます。

私が清華苑で事務員として働き出した頃、今から20年以上も前のことです。ご利用者とともに外出行事で観桜会に参加しました。ご利用者が満開の桜と食事や行事を楽しまれたのち、施設に戻ってこられました。部屋でくつろがれている時に、今年も桜がきれいでしたねと話をするそのご利用者は、あんなにうれしそうに桜を楽しんでいたにもかかわらず、まったくその事を覚えておられませんでした。ほんの少し前に花見をしたことをすっかり忘れられています。愕然としたことを今でも覚えています。こんなことなら花見に行っても行かなくても同じではないかと思ひ、夜寝る時までそのことが頭のかたすみにずっと引っかかっていたんです。でもよく考えると、満開の桜を見て心から楽しんだ事実は変わらない、直後にそのことをすっかり忘れたとしても、その一瞬を楽しんだことは事実です。このような、一瞬一瞬の積み重ねで日々を過ごすことで生活が成り立っています。

それから何年か過ぎて、清華苑の経営理念と運営方針を見直す時期がきて、みんなで何度も話合って作っていききました。その中でこのエピソードを話して運営方針に盛り込めないう議論を重ねました。最終的に、清華苑の運営方針の2番目に、「私達の提供するのには、『生きていてよかった』とほんの一瞬でも頬を緩めていただけのようなサービスです。」と入れて頂きました。

私を含め人間は長生きをしていれば、誰もが年を取り、場合によっては記憶が不確かになってきます。でも、死ぬまで毎日楽しい思い出を積み重ねていきたいと思ひます。そのお手伝いをさせて頂きたいと考えます。たとえそのことをすぐ忘れられたとしても。

地域のみなさま、至らぬところ多々あると思ひますが、その都度、ご意見を頂けましたらありがたいです。今年度もどうかよろしくお願ひいたします。



戸野祐希



年齢 23 歳
趣味 車の運転
特技 片手で鼻をかむことができる

自己 PR

私はギアチェンジが好きです。「運転してる感」が強く感じられるからです。MT から AT へ、技術の進歩で必要の無くなった部分に、運転の楽しさが隠れていました。介護にも IOT の導入など、技術の進歩がありますが、温故知新の精神を忘れずに臨みたいと思います。

小林紗弥



年齢 22 歳
趣味 睡眠、映画鑑賞
特技 どんな時でも笑顔を保つ

自己 PR

ご利用者とのコミュニケーションの時間を大切に、ご利用者の笑顔を引き出すことが出来る様に関わっていきたいです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

今年度の *Look!* 新入職員を 紹介します

今年度は、法人全体で9名の
新人スタッフが入职しました。
特別養護老人ホーム 清華苑には、
5名のスタッフが配属されました！
これからどうぞ宜しくお願いします

鶴岡大樹



年齢 22 歳
趣味 サッカー観戦
特技 20 年来の友人が数人いること

自己 PR

一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。フットサルにも参加したいと思っているのでよろしくお願いします。

柏田朝花



年齢 18 歳
趣味 カラオケ
特技 笑顔、歌唱力

自己 PR

私は人と接することが好きでこの介護職を選びました。そして、インターンシップに参加した際、竹井リーダーに憧れて清華苑を選びました。今の将来の夢は、結婚することです。幸せになります。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

古川蓮花



年齢 18 歳
趣味 シアター巡り
特技 人の顔と名前をすぐに覚えらる

自己 PR

私は虫は嫌いですが、爬虫類は凄く大好きなので、爬虫類カフェと動物園にとっても行きたいと思っています。しかし、爬虫類が好きな友達が全然いないので見つけていきたいです。



SEIKAEN

LIFE お花見特集

PHOTO



相談員日誌

清華苑では毎年苑内に多くの桜が咲きます。苑内の庭園では、お花見ができるほど桜が充実しています。ご利用者を庭園へお連れし、外の空気を味わって頂くと共に綺麗な桜の花を眺めてもらうことが出来る場所となっています。庭園にテーブル、椅子、お菓子、ジュース、レクリエーション用具などを用意し、ご利用者に楽しんで頂けるようにお花見の準備を整えます。桜を見ながらお菓子を食べ、ジュースを飲んで頂くと会話も自然と弾みます。今年も皆様とても良い表情をされ、楽しんで頂けました！ (生活相談員 阿部直樹)





「調理室をご紹介します」

当苑の食事は施設内で調理しており、朝、昼、夕すべて、ご利用者の状態に合わせて食事をお出ししております。嗜好調査を実施し、ご利用者の好みに沿った献立を日々提供しております。栄養バランスの整ったお食事を召し上がって頂くことで、健康の維持にもつながっています。365日休み無く、ご利用者・職員に美味しいお食事を作って頂いています。お正月にはお節料理が振る舞われるなど、季節・行事ごとのメニューも考えています。

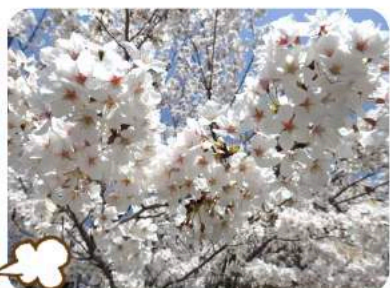
(栄養士 濱田智郁子)



「観桜会」

入社4年目にして初めて、4月の目玉行事「観桜会」に参加しました。苑外の石が谷公園へお弁当を持ってお出かけです。出発までに、当日参加予定のご利用者一人ひとりにお声がけします。「今日、お弁当を持って公園まで桜を見に出掛けようと思いますが、一緒に行きませんか？」お誘いした方全員が目を輝かせて「ほんまか！どこまで行くんや！お弁当持って？行こ行こ！楽しみやなあ〜」とお返事を返して下さいました。お天気は、あいにくの曇りで、肌寒かった為、室内でお弁当を食べましたが、綺麗に盛り付けられたお弁当を目に「うわぁー美味しそう。勿体ないわぁ。美味しい、美味しい。」と味わっておられました。皆様の喜ばれている様子に職員にも笑顔が溢れていました。特養で生活されているご利用者は、人数も多く、気軽に外出する事が難しいですが、月ごとの行事で少しでも四季を感じて頂き、気分転換になればいいなと思いました。

(介護員 押部なつき)



特別養護老人ホーム 清華苑

「花まつり」

先日、花まつりが行われました。その中で私は、昨年からの1年間で亡くなられた方の呼名をされた際に、「あの人にもっとああすれば良かった。」「もっと関わる時間を作れば良かった。」等、何度も後悔したことが思い出されました。今でも、元々会話が出来ていた方がレベル低下に伴い会話が出来なくなってしまった方がおられ、「もっと元気なうちにコミュニケーションをとっていれば。」と思うことがあります。よく「最期まで悔いのないケアを。」と言う言葉を耳にしますが、自分は出来ているのだろうか、後悔が多いのではないかと考えてしまいます。亡くなってから後悔しても遅いので、今生きておられる方100人以上おられる利用者一人ひとりには難しいかもしれませんが、一人でも多くの利用者の方と関わる機会を増やし、今後後悔することが少しでも減らせたら、と改めて感じる事ができました。また、花まつりに参加されたご利用者からは「花まつりってお釈迦様の誕生日なのね。」「住職さんの話が聞けて良かった。」「貴重な機会に参加させてもらえて本当に良かった。」等参加して良かったという声を聞くことが出来ました。ご利用者にとっても、働いている私たちにとっても良い機会でした。

(介護員 久保田千里)



D 清華苑デイサービスセンター 「今年のお花見」

今年も利用者様が毎年楽しみにされている季節がやってきました。それは清華苑に咲く桜です。苑内にはたくさんの桜の木があり、満開になると、とても美しい光景が見られます。今年も職員の間で天気や開花の時期を何度も話し合って満開の時期を見計らい、無事にお花見をする事が出来ました。天候にも恵まれ満開の桜を見る事が出来、利用者様からは「わー！見事やね」「やっぱりここの桜が一番や」など、とても喜んで頂き、自然と笑顔が溢れ、普段と違う表情を見せて下さる方もたくさんおられました。そんな満開の桜の下で春の歌を歌ったり、お花の前で写真を撮ったりと楽しい時間を過ごされ、お庭には歌声と笑い声が響いていました。このお花見を通して利用者様の笑顔をたくさん見る事が出来、とてもほっこりした春を感じられた1日になりました。

(介護員 佐藤明日香)

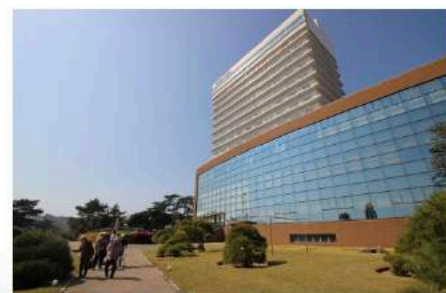


ケアハウス 清華苑シルバーライフ 「春のランチ&お花見ツアー」

4月3日(火) ケアハウス 清華苑シルバーライフでは、「春のランチツアー！」と題して外出行事を企画しました。目指すは、舞子ビラの有栖川です。入居者様6名がご参加されました。メニューは、お花見会席を頂きました。皆さん、どんなお料理が運ばれてくるかワクワク。お造りの三種盛りでは、蛸がプリプリで歯応え十分で美味しかったです。花小箱の天麩羅もさくさくで可愛い葉っぱの飾りが添えられていました★最後のデザートは、桜餅と苺！コースなので一品ずつ運ばれてくるのですが、最後にはお腹いっぱいになりました。その後は、庭園をみんなで散歩しました。少しだけ歩いても汗ばむほど暑かったです。帰りは、石ヶ谷の桜の通り抜けをドライブ！初めて来られた方も多くて、桜のトンネルに車内から歓声と拍手が上がりました。ポカポカ陽気の中で楽しく外出行事を実施する事が出来て良かったです。

みなさん、お疲れ様でした。

(生活相談員 村上卓也)



施設ケアマネ
大西絵里子の

奮

闘

記



清華苑で生活されている 100 名のご利用者はそれぞれ病気や障害を持ちながらも、「出来るだけ人の手を借りずに生活したい。」そう願って毎日を過ごされている方は多いと思います。S さんは思い立てばペンを取り、思いの丈を手紙にします。家族や親戚に向けて手紙を書いては返事を心待ちにしています。問題は手紙を出す方法です。事務所のカウンターに置いていけば夕方の集配で持って行ってくれますが、車いすに乗った S さんにはカウンターまで手が届きません。遠慮なく声をかけて下さいね、と伝えているのですが「職員さん忙しいのに手を止めるの悪いやろ…」と言われました。ならば自分のタイミングで心置きなく手紙が出せるように出来たらいいな、そう思い不器用な私は約 2 時間かけてポストを作りました。吊り下げたのは車いすの S さんが十分投函出来る高さです。とても喜んで下さいました。でも S さん、投函するたびスタッフルームの扉を叩いては「入れといたからね」と声を掛けてくれます。これは大切なコミュニケーションですけどね（笑）身体が思うように動かなくなり、「手伝って貰わないと何も出来なくなってしまうってね…」と落ち込むご利用者に「ご病気にはなれましたが、

お口が元気で良かったです。」と伝えるとなんとも不思議そうな顔をされました。「身体の不自由さは大変だけど介護員がお手伝い出来ます。お口の元気のなさはなかなかお手伝い出来るものではありません。お口が元気であれば思いを伝えることが出来て、楽しい生活が出来ますよ。」と伝えると表情が明るくなり「友達と話せるから、私は幸せね。」と言いました。出来なくなったことを数えると人は悲観的な気持ちになってしまいます。だから病気をした今出来ることの数を数えることをいつもお勧めしています。幼い頃読んだ漫画の本に載っていた「幸福探し」ですね。これは私達の日々の生活にも言えることです。不満や愚痴を口にするより、嬉しかったことや楽しかったことを口にする方がいくらか幸せな気持ちになれるのではないのでしょうか？ケアマネジャーの仕事を通して、たくさんの方と知り合いお話をさせて頂きながら人生勉強の日々です。
(施設ケアマネ 大西絵里子)



先日息子が成人式を迎えました。20歳になるまで色々な事がありました。あつという間でした。手がかかる時期は早く1人の時間が欲しいと思っていましたが、ないものねだりでしょう。うか、いざ1人の時間が増えてくると淋しいものです。成人式の当日、息子のスーツ姿を見て感無量でした。少し曲がったネクタイを直すのに息子と久々に向かい合わせになったのが、お互い顔を見て笑い照れくさかったです。3年後は娘が成人式を迎えるので、淋しさのあまり抜け殻にならないようにこれから趣味を見つけていこうと思います。

事務所 片岡

先日、京都国立近代美術館で開催されている「ゴッホ展」に行ってきました。この日は、知らない人に沢山声を掛けられる日、海外の人からこの電車は大阪まで行けますか？この電車は新大阪に止まりますか？ICカードのICOCAは使えますか？等様々な内容でした。私が返答するのは、YESやOKだけで特に何もしていませんが、海外の方は満面の笑みで「サンキュー、サンキュー」と喜んでくれました。介護という仕事をしている中で、感謝をされる幸せをいつも感じています。改めて感謝をされるというのも良いなと感じる出来事でした。京都の街中で周りを見渡せば、沢山の海外の人がおり、日本人が写真を撮ってあげたり、道を教えてあげたり、当たり前のように行っていました。こういった風習はとも良い物だと感じました。ゴッホは「美しい国」と日本のことをとても好いていましたが、風景だけでなく、こういった風習も含めて好きだったのではないかと感じます。介護を通して感謝される喜びを忘れることなく、ごく当たり前のことをごく当たり前に出来る様に日々頑張っていると思う1日でした。

介護員 吉田

新年度がスタートしましたが、皆様は何か変化がありましたか？今年、娘が年長に進級し、保育園生活も残すところ1年となりました。少し前の話になりますが、娘の通う保育園では、誕生日月末にそれぞれ「誕生日おめでとう。」の絵本冊子をプレゼントしてくれる為、2月に娘も貰っていました。好きな食べ物、身長や体重、先生からのメッセージなど色々書かれています。ですが、その中に定番である「大きくなったからねにしたい。」かを書くところがあります。毎年、その時にはまっているものに関する事を答えているようで、昨年は某アニメの影響でパティシエになりたいと書いてありました。今年は何で書いてあるのかなと思いつながらお迎えに行くと、すぐ担任の先生から「お母さん！美亜ちゃんとても良いお仕事書いてあります。ぜひ、見てあげて下さい！」と絵本を渡されました。帰宅後早速見てみると「おじいちゃん、おばあちゃんを助ける人になりたい。」と書いてありました。親バカですが、とても嬉しかったです。実は、私も私の母が高齢者介護をしているのを見てこの仕事を志したので、母にも伝えたとこも母もとても喜んでいました。もちろん、まだ5歳の娘なので、きつと来年は違うことを答えるのだと思いますが、単純に嬉しくて母親として娘を誇りに感じた出来事でした。

介護員 中井

最近嬉しいことがありました。高校の友人が結婚することになり、披露宴で使う写真を探して欲しいと、昔の携帯を見ていました。懐かしい写真がたくさんあり、思い出に浸った後、何気なく通話記録を見ると、留守番電話に既に亡くなった祖母からのメッセージが残っていました。聞いてみると「まどか、何もないけど電話掛けてみたよ。また電話頂戴ね。おばあちゃんより。」と久しぶりに祖母の声を聞いた喜びで涙が止まりませんでした。もう聞けないと思っていたので、とっても嬉しかったです。

介護員 佐藤

★編集後記★

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の「はな＊華」も、見所満載の盛りだくさんの内容となっております。さて私事ですが、6月より同法人の清華苑養力センターへ異動することとなりました。約1年という短い間でしたが、ご家族の皆様、ご利用者の皆様、地域の方々には大変お世話になりました。ご迷惑をお掛けすることも多々あったとは思いますが、暖かく見守って頂きありがとうございました。これからも広報誌「はな＊華」をよろしくお願い致します。

(広報委員 生活相談員 阿部直樹)



医務室だより

風香る五月にふさわしく、心地良い風が吹いていますが、皆様体調管理はしっかりとされていますか？睡眠不足・偏食・運動不足から、慢性疲労・風邪・生活習慣病を引き起こしやすくなります。誰しも体調不良の時は、自分の事で精一杯になり、相手を思いやる気持ちも希薄になりがちです。体調を整え、心穏やかに過ごせるよう規則正しい生活を送りましょう。そして今日も笑顔で頑張りましょう。

(看護主任 大島さおり)

